



一般社団法人

日本パーキングビジネス協会だより

新しい技術の動向について広く情報収集に努め、
また、“美しく、快適で、機能的な”駐車場づくりを目的に
会員各社協力のもと各社の事業発展に寄与します

事務局：〒 103-0016 東京都中央区日本橋小網町 7-2
TEL 03-3663-6282 FAX 03-3667-0057
URL <http://www.gia-jpb.jp/>
E-mail jpb3533@gia-jpb.jp
スマートフォン用サイト <http://www.gia-jpb.jp/sp/>

平成26年度総会・懇親会 開催！

当協会の平成26年度総会及び懇親会が、5月14日(水)
午前10時30分より、東京都千代田区大手町のKKRホ
テル東京11階の「孔雀の間」にて行われました。議長は
森井理事長が務めました。

各議案は以下のとおりとなっています。

【第1号議案】平成25年度事業報告承認の件

【第2号議案】

- 1 平成25年度事業会計貸借対照表承認の件
- 2 平成25年度事業会計損益計算書承認の件
- 3 平成25年度事業会計監査報告承認の件

【第3号議案】平成26年度事業方針(案)承認の件

【第4号議案】平成26年度予算(案)承認の件

【第5号議案】役員全員満了につき役員選任(案)の件
議事は滞りなく進行し、第1号～第5号議案はすべて

問題なく可決承認されました。

引き続き、当協会恒例の懇親会が来賓各位を招き盛
況に実施されました。来賓の方々は次のとおりです。

- ・国土交通省都市局街路交通施設課
- ・一般社団法人 東京駐車協会
- ・公益社団法人 立体駐車場工業会
- ・一般社団法人 日本プレハブ駐車場工業会
- ・公益財団法人 東京都道路整備保全公社
- ・一般社団法人 日本シェアサイクル協会
- ・東京地下鉄株式会社



総会の様子。各議案は
満場一致で承認された

以下、懇親会の主催者、来賓のスピーチを要約抜粋し
て登壇順にご紹介します。



一般社団法人
日本パーキングビジネス協会
森井 博 理事長

当協会は現在、東京に本部を置き、大阪に関西支部、
福岡に九州支部があり、会員数は118社(正会員72社、
賛助会員46社)となっております。将来は北海道支部
をはじめ、全国各ブロックごとに支部を拡張していき
たいと願っております。

平成25年度の当協会の事業活動の中で特筆すべきも
のは、国土交通省様のご指導をいただき、「平面駐車場
の安全施設ガイドライン」の策定をしたこと、及び、国
民生活センター様並びに国土交通省様のご要望とご指
導を受け、「駐車料金表示の明瞭化」に取り組み、近い
うちに皆様に発表する運びになることです。

駐車場市場は日本経済の長い期間の低迷で、車の保
有台数も7,500～7,600万台と横這い状態が続く中、
当協会に係わる、いわゆるコインパーキング業界各社は
比較的堅調な経営を続けてくることができました。

今回の消費税のアップも今のところ、アベノミクス効
果のためか、さほど影響を受けていないように見受けら
れますが、アベノミクス政策はよく見ればバブル経済策
であり、中身が伴っていません。

当業界としては、今のうちにロックレス、キャッシュ
レスやIT化、その他のサービスによる付加価値の向上
等で、しっかりとした経営基盤の強化を行う必要がある



と思います。

当協会におきましても、これらの情報収集および発信に鋭意努力してまいり所存でございますので、会員各位におかれましても、ご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

今後とも当協会の運営をあく私、理事長は勿論、理事の方々全員が、当協会のすべての会員の利益と益々の発展を願い、尽力するものと確信いたしております。

これからも当協会へのご指導、ご鞭撻を、国土交通省様をはじめ、ご関係諸団体の皆様、すべての会員の皆様へ伏してお願い申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。



国土交通省都市局街路交通施設課
清水 喜代志 課長

本日は、日本パーキングビジネス協会の総会、懇親会、本当におめでとうございます。

国会では、まもなく都市再生特別措置法や公共交通についての法律が参議院で成立するところです。この新しい法律では、駐車場がかなり大きく取り上げられています。これは、駐車場は都市にとって非常に大切な施設である、という世論が高まってまいりまして、国としても重視しなければならないという姿勢の現れではないかと思っております。

私の課である街路交通施設課は、実は以前は「街路課」でございまして、最近になって「交通施設」が加わったのですが、これは「駐車場と地下街」とご説明しております。従来は国の政策としてあまり表に出てこなかったのですが、駐車場も地下街も、近年重要性が増してきたためだと思っております。

それはなぜかといいますと、「健康」が非常に重要視されてきたためです。実は今、日本人の医療費は年間約40兆円かかっており、一人あたり40万円の医療費が必要になっているのです。普通の国だとまず潰れてしまいます。40兆円の医療費を払っている国は他にないわけで、メタボなどの成人病といった健康の問題が、国の

財政の先行きに非常に大きな影を落としているのです。消費税も増税されましたが、本来、税金を上げるのではなく、国民全員が健康になることで解決していくべき問題ですので、国土交通省を含めた各省で、国民の健康増進のための取り組みが進んでおります。今回の法律もその点にポイントを置き、歩いて暮らせる、お出かけが楽しくなる街をつくっていくことが主体として入っております。

駐車場はそれと逆ではないかとお考えになるのが一般的ですが、実はそうではありません。確かに公共交通を使うことが理想ですけれども、現実には常にそういうわけにもいきません。大切なのは、街に車で来て、駐車場に停めてから街の中を歩く。それが実現すれば、便利で楽しい街になるのではないかと考えております。ですから、駐車場ができることで車を上手に利用し、人々がお出かけする健康な街をつくるための政策として、駐車場が非常に重要な存在になりつつあると思っております。

これからの駐車場ビジネスでは、車を停めてお出かけするのが楽しいと思える駐車場を、国と地方自治体、そして皆様方が協力してつくり上げていくことが重要でしょう。それによって人々が運動して健康になり、医療費が減って、誰もが幸せに暮らせる街が実現できると思っております。そういった意味で、駐車場が非常に大きな役割を果たしていくことを期待しております。

ぜひこれから皆様と一緒に、そのような社会をつくっていきたく思っておりますので、よろしく願いいたします。本日はどうもおめでとうございます。

* * *

片岡純市副理事長による乾杯の挨拶後、各会員と来賓による懇親と情報交換が活発に行われました。

約1時間後、清家政彦副理事長による中締めで閉会となりました。

PP



乾杯挨拶をした
片岡副理事長

(一社)日本シェアサイ
クル協会の高橋理事長

中締め挨拶をした
清家副理事長